

ビオトープだより第28号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. ビオトープフォーラム In 射水（日本ビオトープ協会共催）のご報告 総務委員長・中四国委員長・主席 BA 梶岡 幹生

100年先へ この里山を守りたい 射水丘陵の生物多様性を考える

ビオトープフォーラム In 射水

日時：2023年2月25日（土）14：00～16：20

場所：アイザック小杉文化ホール ラポール（富山県射水市）

主催：NPO 法人 自然環境ネットワーク・射水ビオトープ協会

共催：NPO 法人 日本ビオトープ協会

基調講演 「人と自然の空間的共存」

～景観十年、風景百年、風土千年～

講師 東京都市大学特別教授 涌井 史郎氏

造園家 ランドスケープアーキテクト 国連生物多様性の10年委員会委員長代理
農林水産省生物多様性戦略有識者会議座長 岐阜県立森林文化アカデミー学長
愛知学院大学特任教授 中部大学学事顧問



特別講演 「未来につなぎたい里山・森林」

～人と生物の相互関係と可能性～

講師 富山県副知事 横田 美香氏

広島県生まれ。1995年農林水産省に入省。2013年食料産業局食品企業行動室長、2018年大臣官房参事官（原発事故起因の輸入規制撤廃交渉担当）、2019年経営局女性・就農課長。日本農林規格（JAS）制度改正や食品安全管理システムの規格・認証の仕組み創設、農業の新規就農者対策等を実施。2021年3月より富山県副知事。DX（デジタルトランスフォーメーション）・働き方改革推進、女性活躍推進、文化・環境、産業・農林水産業振興などを担当。



15年前に広島県の古鷹山でのビオトープ研修会に参加した射水ビオトープ協会の岡田理事長の依頼で、久郷理事（日本ビオトープ協会副会長、北陸信越地区委員長）のリーダーシップのもと、私もアシストを10年間してきました。これからも生物多様性あふれる里山を守り育てる事を継続していくために、涌井先生、副知事・横田氏に講演をして頂きました。射水市民がこの里山ビオトープを大切に3世代が協力して撫育していく事が目標です。

梶岡 幹生



2. 「大槌町・郷土財活用湧水エリアをビオトープに」

・ミズアオイ池のかく乱作業 ご報告

副会長・主席 BA 野澤 日出夫

参加者（ミズアオイの池をみんなで守る会）下記 34名

町教育委員会	8名
町町民課	2名
県資源循環推進課	1名
県沿岸広域振興局	2名
県立大槌高校生徒	5名
同 教員	3名
大槌町民	3名
環境パートナーシップいわて	3名
かまいし環境ネット	1名
花巻ハヤチネプロ	1名
県立大学	2名
三陸ジオパーク支援員	1名
日本ビオトープ協会	1名
三陸自然学校大槌	1名



ミズアオイ池のかく乱作業・ガマの増殖抑制作業・ヤナギ切り枝挿し木作業
2023年4月22日（土）10：30～12：00



県立大学 島田教授によるミズアオイ講話



かく乱作業・ガマの抜き取り



大槌町長への「環境活動推進賞」受賞伝達